



2021年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年4月14日
東

上場会社名 株式会社アクアライン 上場取引所
 コード番号 6173 URL <http://www.aqualine.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大垣内 剛
 問合せ先責任者 (役職名) 財務・経理部長 (氏名) 平野 真生 (TEL) 03-6758-5588
 定時株主総会開催予定日 2021年5月28日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2021年5月31日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期の連結業績(2020年3月1日～2021年2月28日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | |
|----------|-------|-----|------|---|------|---|---------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年2月期 | 6,025 | 0.3 | △446 | — | △440 | — | △645 | — |
| 2020年2月期 | 6,008 | 3.6 | △17 | — | △18 | — | △34 | — |

(注) 包括利益 2021年2月期 △689百万円(—%) 2020年2月期 △34百万円(—%)

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|----------|----------------|---------------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2021年2月期 | △320.81 | — | △76.5 | △19.2 | △7.4 |
| 2020年2月期 | △17.20 | — | △2.9 | △1.0 | △0.3 |

(参考) 持分法投資損益 2021年2月期 一百万円 2020年2月期 一百万円

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2021年2月期 | 2,687 | 1,009 | 19.7 | 505.78 |
| 2020年2月期 | 1,906 | 1,157 | 60.7 | 569.74 |

(参考) 自己資本 2021年2月期 528百万円 2020年2月期 1,157百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2021年2月期 | 154 | △685 | 588 | 786 |
| 2020年2月期 | 127 | △119 | △143 | 729 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産 配当率 (連結) |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|---------------|--------------|--------------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2020年2月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 | — | — | — |
| 2021年2月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 | — | — | — |
| 2022年2月期(予想) | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 | — | — | — |

3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業収益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり当期純 利益 |
|----|-------|------|------|---|------|---|---------------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | |
| 通期 | 7,392 | 22.7 | 170 | — | 157 | — | 174 | — | 円 銭 87.52 |

(注) 第2四半期(累計)の連結業績予想は行っていません。

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 1社（社名）株式会社E P A R Kくらしのレスキュー、除外 1社（社名）—
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|------------|----------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2021年2月期 | 2,032,600株 | 2020年2月期 | 2,032,600株 |
| ② 期末自己株式数 | 2021年2月期 | 36,316株 | 2020年2月期 | 269株 |
| ③ 期中平均株式数 | 2021年2月期 | 2,010,935株 | 2020年2月期 | 2,032,331株 |

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年2月期の個別業績（2020年3月1日～2021年2月28日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|----------------|------|-----------------------|-------|------|-------|-------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年2月期 | 5,855 | △1.5 | △274 | — | △254 | — | △547 | — |
| 2020年2月期 | 5,946 | 3.7 | 8 | △96.5 | 9 | △96.1 | △40 | — |
| | 1株当たり 当期純利益 | | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | | | | | |
| | 円 銭 | | 円 銭 | | | | | |
| 2021年2月期 | △272.16 | | — | | | | | |
| 2020年2月期 | △19.85 | | — | | | | | |

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|----------|-------|--|-------|--|--------|--------|----------|--|
| | 百万円 | | 百万円 | | % | 円 銭 | | |
| 2021年2月期 | 2,203 | | 623 | | 28.3 | 306.61 | | |
| 2020年2月期 | 1,893 | | 1,154 | | 61.0 | 568.09 | | |

(参考) 自己資本 2021年2月期 623百万円 2020年2月期 1,154百万円

<個別業績の前期実績値との差異理由>

当社は当事業年度において、新型コロナウイルス感染症の拡大による中途採用の売り手市場の弱まりを受け、来期以降を見据えた現場サービススタッフ採用拡大に伴う採用・教育費用の増加、新人スタッフの増加に伴う生産性・効率性の低下、減損損失の計上等により、前事業年度の実績値と当事業年度の実績値との間に差額が生じております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 今後の見通し | 4 |
| (5) 継続企業の前提に関する重要事象等 | 4 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 5 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 6 |
| (1) 連結貸借対照表 | 6 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 8 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 10 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 11 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 12 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 12 |
| (セグメント情報等) | 12 |
| (1株当たり情報) | 16 |
| (重要な後発事象) | 16 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、依然として厳しい状況が続いております。このところ持ち直しの動きも見られたものの、感染者数の増加傾向が見受けられ今後も先行きは予断を許さない状況が続いております。

当社グループを取り巻く経営環境につきましては、少子高齢化という人口構造の変化により、新規住宅着工戸数の減少が予測されており、既存住宅の平均築年数は上昇しております。そのため、住宅の老朽化と共に、水まわりのトラブルを含む住宅の不具合は増える傾向にあります。

このような環境のもとで、当社グループは、生活救急サービスを検索できるポータルサイト「E P A R K 暮らしのレスキュー」（旧・E P A R K レスキュー）の運営、様々な検索ポータルサイトとの連携を実現した店舗・施設向けホームページサービス「ローカルプレイス」のうち生活救急領域の広告販売を行っている株式会社E P A R K 暮らしのレスキュー（旧・株式会社E P A R K レスキュー）の株式を取得し子会社化いたしました。

当連結会計年度は、主力事業であります水まわり緊急修理サービス事業では、2020年4月から5月に発令された緊急事態宣言期間中におきまして緊急性を要しない修理依頼の減少が生じましたが、解除後の6月以降は新型コロナウイルス感染症拡大前の水準へと回復いたしました。8月以降は中途採用活動に注力し現場サービススタッフの採用数は計画を大幅上回りました。ミネラルウォーター事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により販売が大きく落ち込みましたが、備蓄用の保存水の販売は堅調に推移しました。フィットネス事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、パーソナルトレーニングジムの営業を自粛いたしましたが、現在は営業を再開しております。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高6,025,332千円（前年同期比0.3%増）となりました。営業損失は、のれん償却額の計上等により446,972千円（前年同期は17,396千円の営業損失）、経常損失は440,708千円（前年同期は18,982千円の経常損失）、減損損失267,670千円の計上等により親会社株主に帰属する当期純損失は645,130千円（前年同期は34,949千円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

各事業部門の状況は次のとおりであります。

・水まわり緊急修理サービス事業

2020年4月から5月に発令された緊急事態宣言期間中におきまして緊急性を要しない修理依頼の減少が生じましたが、解除後の6月以降は新型コロナウイルス感染症拡大前の水準へと回復いたしました。新型コロナウイルス感染症対策に努める一方で、8月以降中途採用活動に注力し現場サービススタッフの採用数は計画を大幅上回りました。しかしながら、採用・教育費用の増加、新人サービススタッフの増加に伴う生産性・採算性の低下等により費用が増加いたしました。

以上の結果、当事業の売上高は5,243,807千円（前年同期比2.8%増）、営業損失は229,392千円（前年同期は46,780千円の営業損失）となりました。

・広告メディア事業

生活救急サービスを検索できるポータルサイト「E P A R K 暮らしのレスキュー」（旧・E P A R K レスキュー）の加盟店募集、入電数増加に注力いたしました。

以上の結果、当事業の売上高は151,474千円、営業損失は234,870千円となりました。

・ミネラルウォーター事業

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、特にホテル、大学等への販売が大きく落ち込みましたが、備蓄用の保存水の販売は堅調に推移しました。

以上の結果、当事業の売上高は581,657千円（前年同期比31.7%減）、営業利益は24,861千円（前年同期比42.6%減）となりました。

・フィットネス事業

健康志向の高まりを背景に水まわり緊急修理サービス事業で培った「サービス力」を活かしてパーソナルトレーニングジムを2店舗運営しております。新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、営業を自粛いたしましたが、現在は営業を再開しております。

以上の結果、当事業の売上高は48,393千円（前年同期比12.1%減）、営業損失は7,577千円（前年同期は15,806千円の営業損失）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産の額は、前連結会計年度末に比べ780,817千円増加し2,687,706千円となりました。これは主に、現金及び預金が166,934千円、のれんが728,284千円増加したことによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債の額は、前連結会計年度末に比べ929,029千円増加し1,678,016千円となりました。これは主に、長期借入金（I年内返済予定の長期借入金を含む）が593,341千円、未払金が132,979千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産の額は、前連結会計年度末に比べ148,211千円減少し1,009,689千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純損失の計上により利益剰余金が減少したものの、非支配株主持分が481,044千円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ56,934千円増加し786,669千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローは以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動の結果得た資金は154,405千円となりました。これは主に、税金等調整前当期純損失を708,874千円計上したものの、減価償却費を149,425千円計上、減損損失を267,670千円計上、のれん償却額を182,071千円計上、その他の流動資産の減少159,096千円、未払金の増加132,996千円が生じたことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動の結果使用した資金は685,856千円となりました。これは主に、定期預金の預け入れによる支出110,000千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出536,499千円が生じたことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動の結果得た資金は588,384千円となりました。これは主に、長期借入れによる収入700,000千円が生じたことによるものであります。

(4) 今後の見通し

当社グループを取り巻く経営環境の外部要因といたしましては、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により景気は依然として厳しい状況が続きますが、当社の売上高の約9割を占める「水まわり緊急修理サービス事業」は緊急という特徴から、これらの外部要因の変動に需要が左右されにくく足元の業績は順調に推移すると期待されます。さらに、昨今の住宅の築年数の上昇による住宅の設備の老朽化及び製品の経年劣化、一人暮らし世帯及び工具箱のない家庭の増加などの社会的変化も加わり、水まわりの修理・トラブル解消に関する需要は引き続き緩やかな増加が続くと予想されます。こうしたなか、当社グループは、引き続き水まわりの緊急トラブルの解消や製品の販売・修理などの既存サービスに加え、新サービスの拡充、知名度向上、業務提携の強化、現場サービススタッフの教育等を進めてまいります。

具体的には、2020年開始のサブスクリプションサービスによる収益安定性の向上、水道屋本舗インターネットサイトの改善及び業務提携先の増加による入電件数の増加や入電効率の向上、現場サービススタッフ教育体制の強化による生産性、効率性の向上を目指してまいります。

広告メディア事業においては、生活サービスサイト「E P A R Kくらしのレスキュー」の全面リニューアルを予定しており、掲載加盟店向けサービスの拡充やサービスカテゴリーの増設による掲載加盟店数、ユーザー数の増加を目指してまいります。

ミネラルウォーター事業においては、備蓄用保存水の各省庁・防災商社への営業強化、法人向けオリジナルウォーターの販売拡大を目指してまいります。

2022年2月期の連結業績は、売上高7,392百万円(前年同期比22.7%増)、営業利益170百万円(前年同期は446百万円の営業損失)、経常利益157百万円(前年同期は440百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する当期純利益174百万円(前年同期は645百万円の親会社株主に帰属する当期純損失)を見込んでおります。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大状況が現状以上に悪化せず、消費動向は徐々に回復に進みながらも、2022年2月期中は影響が残ることを前提としております。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度及び当連結会計年度において、営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する当期純損失を計上しており、また、当連結会計年度の損失額に重要性が認められることから、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせる事象又は状況が存在しているものと認識しております。

継続企業の前提に関する重要な疑義又は状況が存在しておりますが、当連結会計年度末において、財務面では当面の間の運転資金が十分に賄える状況であり安定性は確保されていると考えております。また、営業面では特に水まわり緊急修理サービス事業におきまして、既存サービスに加え、新サービスの拡充、知名度向上、業務提携の強化、現場サービススタッフの教育等を進め、収益安定性の向上、生産性・効率性の向上を図ってまいります。

以上により、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際財務報告基準（IFRS）の適用時期等につきまして、今後の事業展開やわが国における動向等を踏まえた上で検討する方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2020年2月29日) | 当連結会計年度 (2021年2月28日) |
|------------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 729,735 | 896,669 |
| 売掛金 | 365,515 | 429,484 |
| 商品及び製品 | 10,916 | 16,098 |
| 原材料及び貯蔵品 | 148,626 | 186,995 |
| 前払費用 | 132,113 | 22,239 |
| 未収還付法人税等 | 31,290 | — |
| その他 | 11,212 | 11,116 |
| 貸倒引当金 | △834 | △261 |
| 流動資産合計 | 1,428,575 | 1,562,342 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 69,691 | 53,299 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △29,752 | △53,045 |
| 建物(純額) | 39,939 | 253 |
| 車両運搬具 | 142,038 | 140,169 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △76,386 | △116,994 |
| 車両運搬具(純額) | 65,652 | 23,174 |
| リース資産 | 294,361 | 441,523 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △109,472 | △325,037 |
| リース資産(純額) | 184,889 | 116,486 |
| その他 | 73,925 | 72,355 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △44,499 | △72,340 |
| その他(純額) | 29,426 | 15 |
| 有形固定資産合計 | 319,907 | 139,930 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | — | 728,284 |
| ソフトウェア | 29,052 | 19,982 |
| その他 | 3,849 | 83,989 |
| 無形固定資産合計 | 32,901 | 832,256 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,826 | 53,127 |
| 繰延税金資産 | 22,340 | — |
| その他 | 110,794 | 109,446 |
| 貸倒引当金 | △9,456 | △9,397 |
| 投資その他の資産合計 | 125,503 | 153,176 |
| 固定資産合計 | 478,313 | 1,125,363 |
| 資産合計 | 1,906,888 | 2,687,706 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2020年2月29日) | 当連結会計年度 (2021年2月28日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 118,626 | 103,567 |
| 短期借入金 | — | 86,600 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 15,000 | 162,997 |
| リース債務 | 57,428 | 84,580 |
| 未払金 | 324,020 | 457,000 |
| 未払法人税等 | — | 597 |
| 工事補償引当金 | 1,375 | 1,520 |
| その他 | 83,446 | 78,171 |
| 流動負債合計 | 599,897 | 975,034 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 11,250 | 456,594 |
| リース債務 | 137,839 | 206,228 |
| 繰延税金負債 | — | 40,158 |
| 固定負債合計 | 149,089 | 702,981 |
| 負債合計 | 748,987 | 1,678,016 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 280,309 | 280,309 |
| 資本剰余金 | 200,309 | 200,309 |
| 利益剰余金 | 677,984 | 32,854 |
| 自己株式 | △702 | △23,393 |
| 株主資本合計 | 1,157,901 | 490,079 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | — | 38,565 |
| その他の包括利益累計額合計 | — | 38,565 |
| 非支配株主持分 | — | 481,044 |
| 純資産合計 | 1,157,901 | 1,009,689 |
| 負債純資産合計 | 1,906,888 | 2,687,706 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日) | 当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日) |
|---------------------|--|--|
| 売上高 | 6,008,465 | 6,025,332 |
| 売上原価 | 3,405,416 | 3,437,550 |
| 売上総利益 | 2,603,049 | 2,587,782 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,620,446 | 3,034,754 |
| 営業損失(△) | △17,396 | △446,972 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 135 | 225 |
| 受取配当金 | 6 | 6 |
| 受取手数料 | 252 | — |
| 保険差益 | 271 | 1,672 |
| 助成金収入 | — | 13,804 |
| その他 | 383 | 2,433 |
| 営業外収益合計 | 1,049 | 18,142 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,719 | 6,497 |
| 支払手数料 | — | 2,157 |
| 支払補償費 | 610 | 2,603 |
| リース解約損 | 14 | — |
| その他 | 290 | 620 |
| 営業外費用合計 | 2,634 | 11,878 |
| 経常損失(△) | △18,982 | △440,708 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 33 | 19 |
| 特別利益合計 | 33 | 19 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 5 | 28 |
| 固定資産除却損 | 541 | 488 |
| 減損損失 | 17,965 | 267,670 |
| 特別損失合計 | 18,512 | 268,186 |
| 税金等調整前当期純損失(△) | △37,460 | △708,874 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 7,052 | 3,099 |
| 法人税等調整額 | △9,563 | 15,611 |
| 法人税等合計 | △2,511 | 18,711 |
| 当期純損失(△) | △34,949 | △727,586 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | — | △82,455 |
| 親会社株主に帰属する当期純損失(△) | △34,949 | △645,130 |

連結包括利益計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日) | 当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日) |
|--------------|--|--|
| 当期純損失(△) | △34,949 | △727,586 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | — | 38,565 |
| その他の包括利益合計 | — | 38,565 |
| 包括利益 | △34,949 | △689,020 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | △34,949 | △606,564 |
| 非支配株主に係る包括利益 | — | △82,455 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

(単位:千円)

| | 株主資本 | | | | | その他の包括利益累計額 | | 非支配株主 持分 | 純資産合計 |
|-----------------------------|---------|---------|---------|------|-----------|----------------------|-----------------------|-------------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価 証券評価差 額金 | その他の包 括利益累計 額合計 | | |
| 当期首残高 | 280,309 | 200,309 | 753,581 | △702 | 1,233,498 | — | — | — | 1,233,498 |
| 当期変動額 | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | — | — | △40,646 | — | △40,646 | — | — | — | △40,646 |
| 親会社株主に帰属する 当期純損失(△) | — | — | △34,949 | — | △34,949 | — | — | — | △34,949 |
| 自己株式の取得 | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額) | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 当期変動額合計 | — | — | △75,596 | — | △75,596 | — | — | — | △75,596 |
| 当期末残高 | 280,309 | 200,309 | 677,984 | △702 | 1,157,901 | — | — | — | 1,157,901 |

当連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

(単位:千円)

| | 株主資本 | | | | | その他の包括利益累計額 | | 非支配株主 持分 | 純資産合計 |
|-----------------------------|---------|---------|----------|---------|-----------|----------------------|-----------------------|-------------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価 証券評価差 額金 | その他の包 括利益累計 額合計 | | |
| 当期首残高 | 280,309 | 200,309 | 677,984 | △702 | 1,157,901 | — | — | — | 1,157,901 |
| 当期変動額 | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 親会社株主に帰属する 当期純損失(△) | — | — | △645,130 | 0 | △645,130 | — | — | — | △645,130 |
| 自己株式の取得 | — | — | — | △22,690 | △22,690 | — | — | — | △22,690 |
| 株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額) | — | — | — | — | — | 38,565 | 38,565 | 481,044 | 519,609 |
| 当期変動額合計 | — | — | △645,130 | △22,690 | △667,820 | 38,565 | 38,565 | 481,044 | △148,211 |
| 当期末残高 | 280,309 | 200,309 | 32,854 | △23,393 | 490,079 | 38,565 | 38,565 | 481,044 | 1,009,689 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日) | 当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日) |
|--------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純損失 (△) | △37,460 | △708,874 |
| 減価償却費 | 129,859 | 149,425 |
| 減損損失 | 17,965 | 267,670 |
| のれん償却額 | — | 182,071 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △2,900 | △632 |
| 工事補償引当金の増減額 (△は減少) | △559 | 145 |
| 受取利息及び受取配当金 | △141 | △231 |
| 助成金収入 | — | △13,804 |
| 支払利息 | 1,719 | 6,497 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △10,553 | △63,969 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | 9 | △43,550 |
| 前払費用の増減額 (△は増加) | 19,060 | 81,999 |
| その他の流動資産の増減額 (△は増加) | △58,801 | 159,096 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 5,524 | △15,058 |
| 未払金の増減額 (△は減少) | 38,892 | 132,996 |
| その他 | 58,728 | 15,589 |
| 小計 | 161,341 | 149,368 |
| 利息及び配当金の受取額 | 141 | 231 |
| 助成金の受取額 | — | 13,804 |
| 利息の支払額 | △1,553 | △6,496 |
| 法人税等の支払額 | △32,695 | △2,502 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 127,233 | 154,405 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | — | △110,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △97,425 | △16,030 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 28 | 20 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △19,591 | △24,200 |
| 短期貸付けによる支出 | △900 | △6,884 |
| 短期貸付金の回収による収入 | 502 | 6,969 |
| 長期貸付けによる支出 | △3,110 | △1,900 |
| 長期貸付金の回収による収入 | 2,336 | 2,285 |
| 差入保証金の差入による支出 | △2,407 | △3,758 |
| 差入保証金の回収による収入 | 1,380 | 5,143 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | — | △536,499 |
| その他 | △18 | △1,001 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △119,205 | △685,856 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | — | 86,600 |
| 長期借入れによる収入 | — | 700,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △53,943 | △106,659 |
| 自己株式の取得による支出 | — | △22,690 |
| 配当金の支払額 | △40,620 | △16 |
| リース債務の返済による支出 | △48,591 | △68,848 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △143,155 | 588,384 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △135,126 | 56,934 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 864,861 | 729,735 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 729,735 | 786,669 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、サービス内容・商品別の事業部及び連結子会社を置き、各事業部及び連結子会社は取り扱うサービス・商品について戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループはサービス提供形態及び提供商品を基礎とした業態別セグメントから構成されており、「水まわり緊急修理サービス事業」、「広告メディア事業」、「ミネラルウォーター事業」及び「フィットネス事業」の4つを報告セグメントとしております。

「水まわり緊急修理サービス事業」は、水まわりの緊急トラブル修理・対応、水まわり商品の販売・取付、その他修繕工事等を行っております。

「広告メディア事業」は、生活サービスサイト「E PARK 暮らしのレスキュー」の運営、生活救急領域のインターネット広告販売を行っております。

「ミネラルウォーター事業」は、ミネラルウォーターの販売、ウォーターディスペンサーの取り扱いを行っております。

「フィットネス事業」は、パーソナルトレーニングジムの運営をしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要事項」における記載と同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 合計 | 調整額 (注) 1 | 連結財務諸表 計上額 |
|-----------------------|------------------------|--------------|-----------------|--------------|-----------|--------------|---------------|
| | 水まわり緊急 修理サービス 事業 | 広告メディア 事業 | ミネラルウオ ーター事業 | フィットネ ス事業 | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 5,101,273 | — | 852,143 | 55,048 | 6,008,465 | — | 6,008,465 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 750 | — | 379 | 799 | 1,928 | △1,928 | — |
| 計 | 5,102,023 | — | 852,523 | 55,847 | 6,010,394 | △1,928 | 6,008,465 |
| セグメント利益又は損 失(△) | △46,780 | — | 43,335 | △15,806 | △19,252 | 1,855 | △17,396 |
| その他の項目 | | | | | | | |
| 減価償却費 | 125,618 | — | 913 | 3,327 | 129,859 | — | 129,859 |
| のれん償却額 | — | — | — | — | — | — | — |

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去1,855千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. セグメント資産は、報告セグメントに資産を配分していないため、記載していません。

当連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 合計 | 調整額 (注) 1 | 連結財務諸表 計上額 |
|-----------------------|------------------------|--------------|-----------------|--------------|-----------|--------------|---------------|
| | 水まわり緊急 修理サービス 事業 | 広告メディア 事業 | ミネラルウオ ーター事業 | フィットネ ス事業 | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 5,243,807 | 151,474 | 581,657 | 48,393 | 6,025,332 | — | 6,025,332 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | 23,898 | 332 | 158 | 24,388 | △24,388 | — |
| 計 | 5,243,807 | 175,372 | 581,989 | 48,551 | 6,049,721 | △24,388 | 6,025,332 |
| セグメント利益又は損 失(△) | △229,392 | △234,870 | 24,861 | △7,577 | △446,979 | 6 | △446,972 |
| その他の項目 | | | | | | | |
| 減価償却費 | 123,320 | 25,009 | 828 | 269 | 149,425 | — | 149,425 |
| のれん償却額 | — | 182,071 | — | — | 182,071 | — | 182,071 |

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去6千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. セグメント資産は、報告セグメントに資産を配分していないため、記載していません。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

主要な顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高で連結損益計算書の売上高10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

主要な顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高で連結損益計算書の売上高10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 全社・消去 | 合計 |
|------|----------------|----------|-------------|----------|-------|--------|
| | 水まわり緊急修理サービス事業 | 広告メディア事業 | ミネラルウォーター事業 | フィットネス事業 | | |
| 減損損失 | — | — | — | 17,965 | — | 17,965 |

当連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 全社・消去 | 合計 |
|------|----------------|----------|-------------|----------|--------|---------|
| | 水まわり緊急修理サービス事業 | 広告メディア事業 | ミネラルウォーター事業 | フィットネス事業 | | |
| 減損損失 | 247,222 | — | — | — | 20,448 | 267,670 |

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 全社・消去 | 合計 |
|-------|----------------|----------|-------------|----------|-------|---------|
| | 水まわり緊急修理サービス事業 | 広告メディア事業 | ミネラルウォーター事業 | フィットネス事業 | | |
| 当期償却額 | — | 182,071 | — | — | — | 182,071 |
| 未償却残高 | — | 728,284 | — | — | — | 728,284 |

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日) | 当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日) |
|-----------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 569.74円 | △505.78円 |
| 1株当たり当期純損失金額(△) | △17.20円 | △320.81円 |

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (2020年2月29日) | 当連結会計年度 (2021年2月28日) |
|--------------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 純資産の部の合計額(千円) | 1,157,901 | 1,009,689 |
| 純資産の部の合計額から控除する金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る期末の純資産額(千円) | 1,157,901 | 1,009,689 |
| 1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株) | 2,032,331 | 1,996,284 |

3. 1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日) | 当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日) |
|-------------------------------|--|--|
| 1株当たり当期純利益金額 | | |
| 親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円) | △34,949 | △645,130 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円) | △34,949 | △645,130 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 2,032,331 | 2,010,935 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。